

# 袋ダンプ

働きもの おしんちゃん

## 取扱説明書

# HD-FT10

も く じ

### ご使用になる前に

- はじめに…………… 1
- 安全のため必ずお守りください…………… 2
- 各部の名称とはたらき…………… 5
- 使用前の準備…………… 6

### ご使用にあたって

- 毎日作業前の点検…………… 7
- 作業のしかた…………… 8

### 知っておきたいこと

- 注油…………… 9
- 長期格納…………… 9
- 不調の原因と処置…………… 10

### その他

- 仕様…………… 11
- オプション…………… 11
- 安全確認一覧表…………… 12
- 純正部品表…………… 13

ご使用前に必ずお読みください  
いつまでも大切に保管してください

# はじめに

このたびは、本製品をお買上げいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書には、本機の正しい安全な使いかた、保守点検などについて記載してあります。本機を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みになって、本機の構造などをじゅうぶんご理解ください。

なお、仕様などの変更により、お求めいただいた製品と、本書の内容やイラストの一部が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

お読みになった後、必ず大切に保管し、わからないことがあったときは、いつでも取出してご利用できるようにしておいてください。

## ■危険防止

この取扱説明書では、必ず守っていただきたい重要な注意事項について、次のように表示しています。

### 1. 安全のため必ず守っていただきたいこと。

**警告**：もし守らないと、重傷事故を引起すことがあります。

**注意**：もし守らないと、負傷事故を引起すことがあります。

### 2. 機械の損傷を防ぐため必ず守っていただきたいこと。

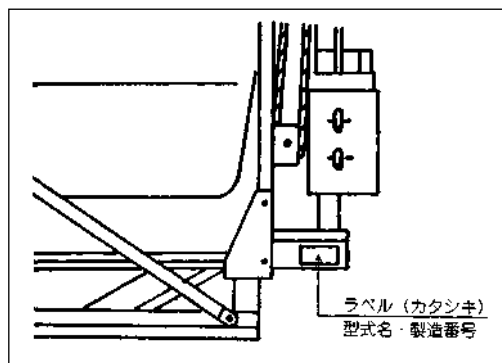
**重要**：もし守らないと、機械の故障や損傷につながります。

## ■ご不明な点や不具合がありましたら

本書や本機についてご不明な点や、不具合がありましたら、無理に使用せず、ご購入店または弊社（本書のうら表紙に記載）までお問い合わせください。

軽い故障でも重大事故につながる場合がありますので、早期発見に心がけ、早めに整備してください。

故障や不具合が発生したときは、型式名と製造番号を必ずご連絡ください。



### **警告**

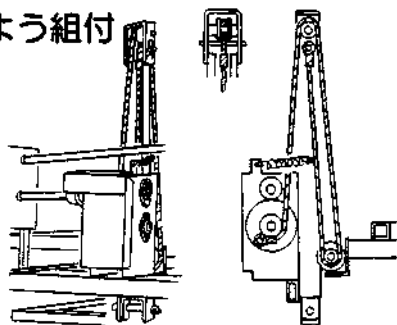
- 本機は稲もみや麦などの穀粒運搬用として設計されています。この他の用途には使用できません。
- 改造して使用することは、しないでください。

**!** **注意** 安全のため必ずお守りください

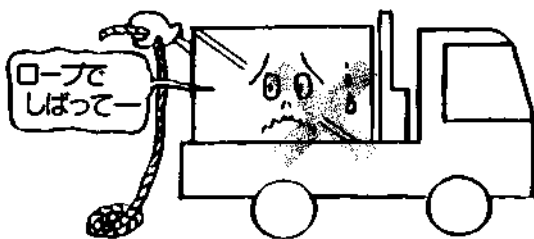
使用前にこの取扱説明書をよく読み、理解する

機械を他人に貸す場合は取扱い方法をよく説明し、あらかじめ取扱説明書をよく読ませる

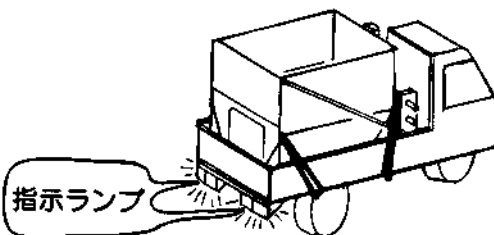
ケーブルは正しい経路でねじれないよう組付



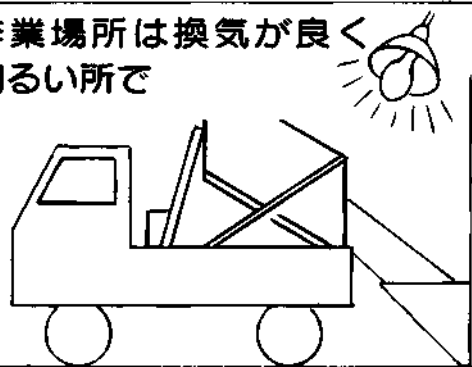
トラックへはロープで固定



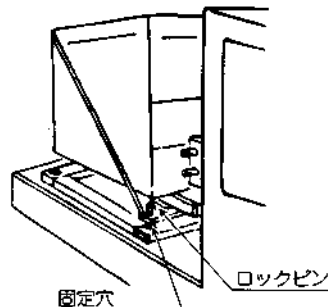
指示ランプが見えるように後ろトビラを閉じる



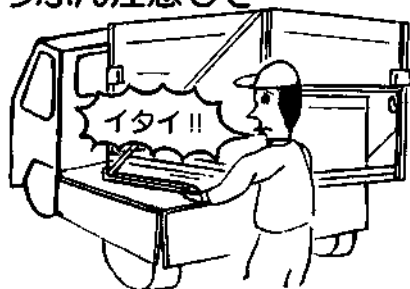
作業場所は換気が良く明るい所で



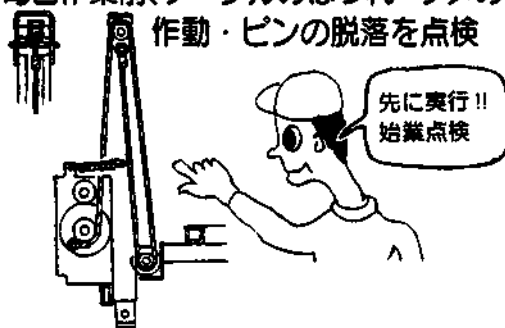
道路走行時は必ずロックピンで固定



トラックへの積み降ろしはじゅうぶん注意して

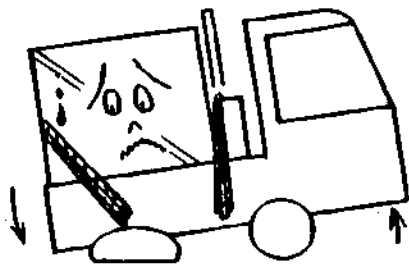


毎日作業前、ケーブルのほつれ・ツメの作動・ピンの脱落を点検

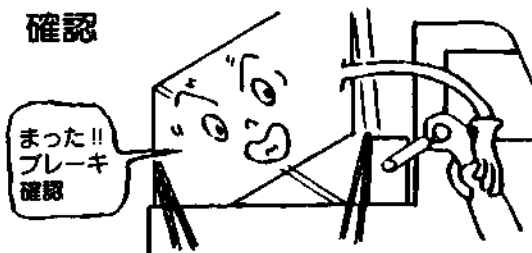


**!** **注意** 安全のため必ずお守りください

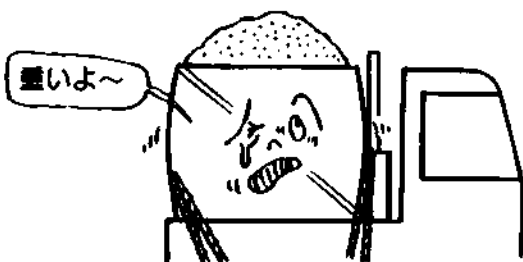
トラックの積載量を守る



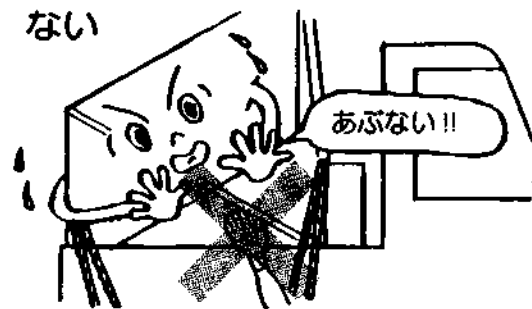
ハンドルから手を放すときは  
落下防止ブレーキの作動を  
確認



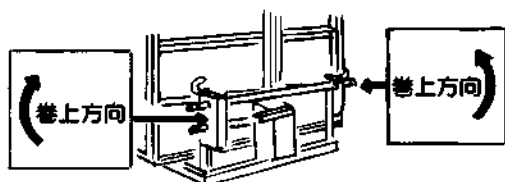
1t 以上積まない



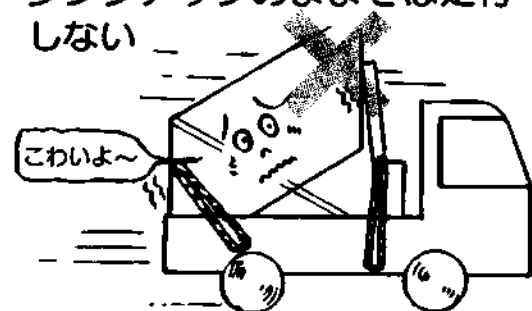
フレームの下には手足を入れない



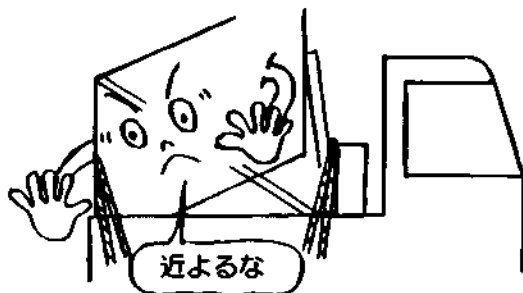
ハンドルの巻上げ方向は必ず  
矢印通りに



ダンプアップのままでは走行  
しない



巻上時は人を近づけない



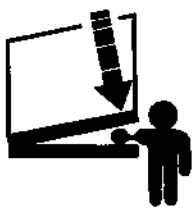
# ⚠️ 注意 安全のため必ずお守りください

## 使用前に安全ラベルをよく読む

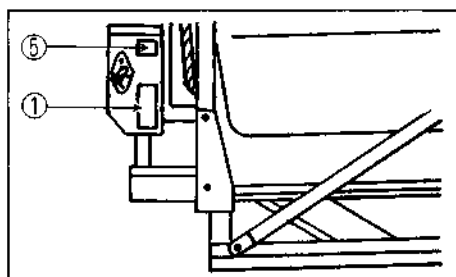
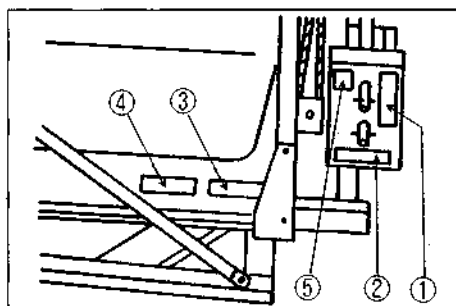
- 袋ダンブには次の安全ラベルが貼ってあります。よくお読みになって、理解した上で作業してください。

### ① 品番 24114-3111-1

**⚠️ 警告**



1. フレームの下には絶対に手・足等を入れない事。
2. ハンドルから手を放す時はブレーキが確実に作動している事を確認する事。
3. 巻上げ時は周囲に人を近づけない事。



### ② 品番 24117-1174-1

**⚠️ 注意** 使用トラックの積載量を遵守のこと。

24117-1174-1

### ③ 品番 22132-3115-1

## ⚠️ 注意

1. 安全に作業するために、必ず取扱説明書をよく読んで機械の使い方をよく覚えてから使用のこと。
2. 取扱説明書がない場合は購入店に連絡し、取寄せてください。

### ④ 品番 24114-3112-1

## ⚠️ 注意

1. 運搬中はロープでしっかり固定すること。トラックの荷台から落下する危険があります。
2. ダンブアップのままでの走行は絶対しないこと。重心が高くなり、転倒する危険があります。

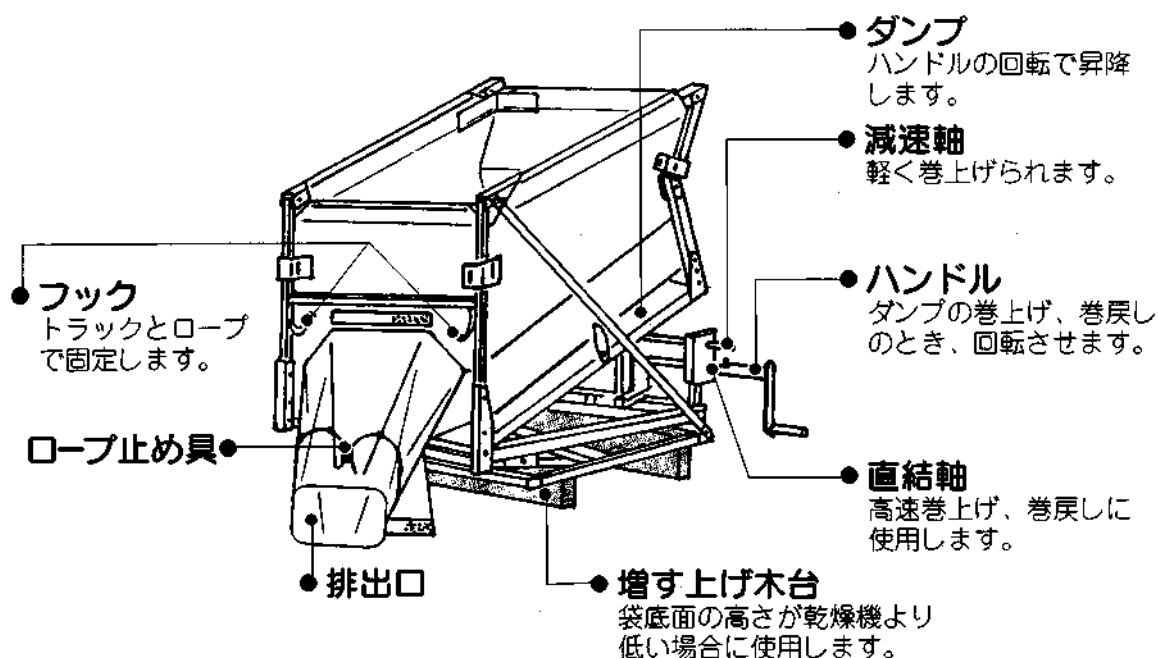
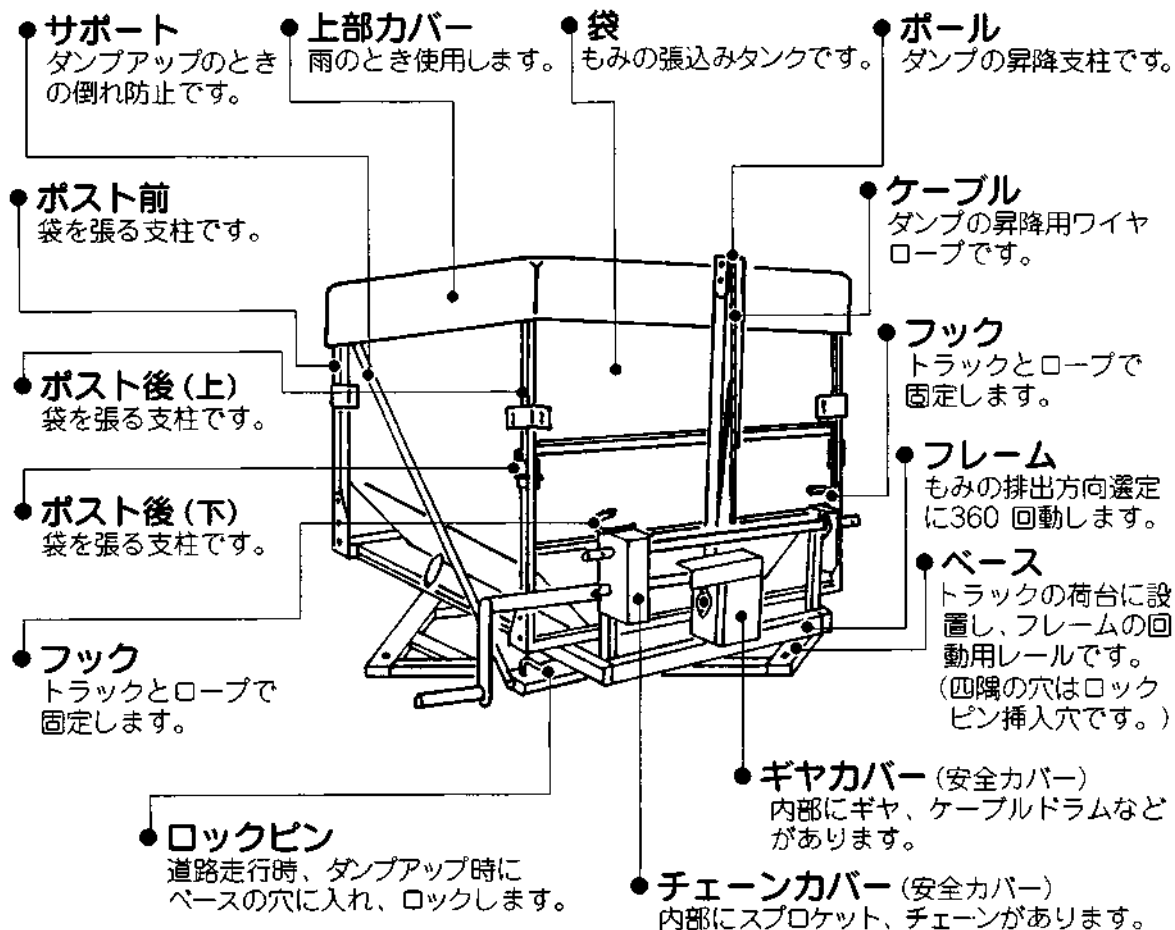
24114-3112-1

### ⑤ 品番 24115-1164-1

**巻上げ方向厳守の事。**  
(逆回転での巻上げはブレーキがきかず大変危険です)

- ラベルはいつもきれいにし、ハッキリと見えるようにしてください。
- シナーやアセトンなどの溶剤ではふかないでください。文字や絵が消えることがあります。
- ラベルが損傷・破損した場合は新しいラベルと交換してください。
- 安全ラベルを貼ってある部品を交換したときは、必ず新しい安全ラベルも取寄せ、取外した部品と同じ場所に貼ってください。

# 各部の名称とはたらき



# 使用前の準備

## 1. ボール、バネ、ケーブルの組付け



- ケーブルは図の通りの経路にし、ねじれないように組付けてください。経路を間違ったり、ねじれた状態で組付けますとケーブルが損傷し、落下の危険があります。
- スナップピンは確実にセットしてください。スナップピンのセットが中途半端ですと作業中にピンが抜けて落下の危険があります。

①フレームとポールにピン (15-106) を通し、スナップピンで固定する。

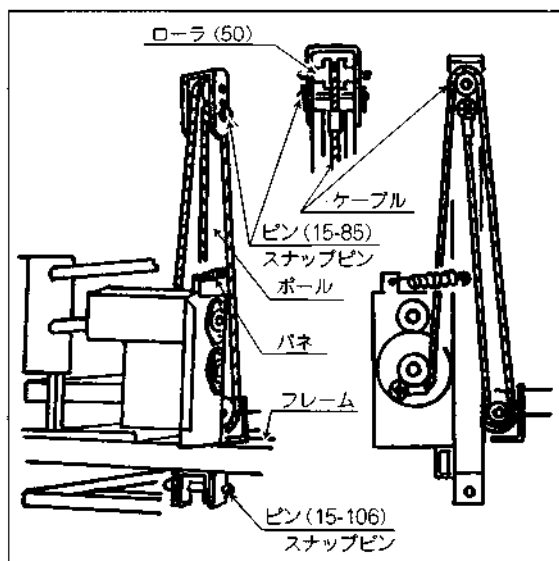
ピン (15-106) ..... 1個  
スナップピン (φ14用) ..... 2個

②フレームとポールにバネを引掛ける。

バネ ..... 1個

③ケーブルをローラ (50) の溝に入れ、ピン (15-85) を通し、スナップピンで固定する。

ピン (15-85) ..... 1個  
スナップピン (φ14用) ..... 2個



## 2. ビーム(右)、(左)、サポート、袋の組付け

①ポスト前を立て固定する。

頭付ピン (8×52) ..... 2個  
スナップピン (φ8用) ..... 2個

②ポスト後(下)を立て固定する。

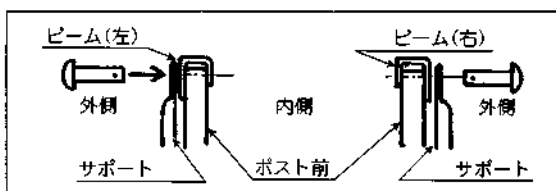
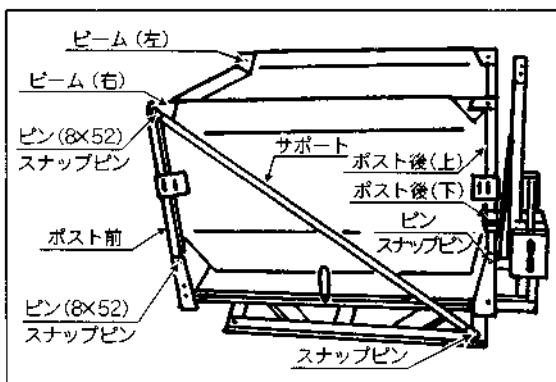
ポスト後(下)にセットしてあるピン、スナップピンで組付ける。

③ビーム(右)、(左)を袋に通しポスト前、ポスト後(上)、及びサポートを組付ける。

ピン (8×52) ..... 4個  
スナップピン (φ8用) ..... 6個

### 重要

- ビーム(右)、(左)の組付けは取付面の広い方を外側にしてセットすること。逆にするとポストが変形します。
- サポートを組付けしないとダンブアップ時、袋が排出側に傾斜し、乾燥機などを損傷します。



④ハンドルを回転させて機械の各部に異常がないか確認します。

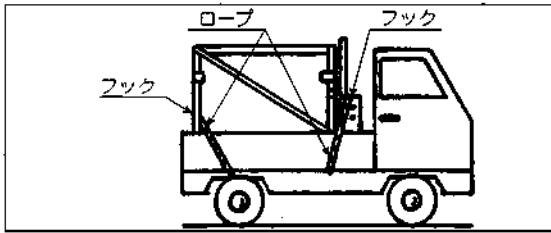
## 3. トラック荷台への搭載

袋底面の高さが乾燥機ホッパ上面より低い場合は、本機セットの増す上げ木台をつけた状態で、トラック荷台へ搭載してください。



- トラックへの積み降ろしは危険が伴います。手や足をはさまないように、又落下させないようにじゅうぶん注意してください。
- 運搬中にトラックの荷台から落下したり移動したりすることのないよう、必ずロープでしっかりと固定し、フレームのロックピンをベースの穴に確実にセットしてください。ロープは頑丈でしっかりした物を使用してください。

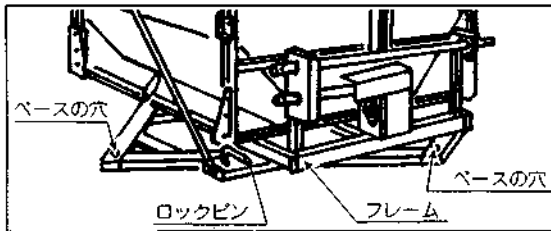
- ①袋ダンプの背面をトラックの後面に合せた位置で、トラックへロープで固定します。



**重要**

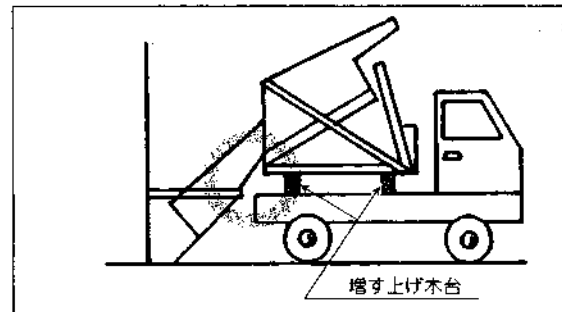
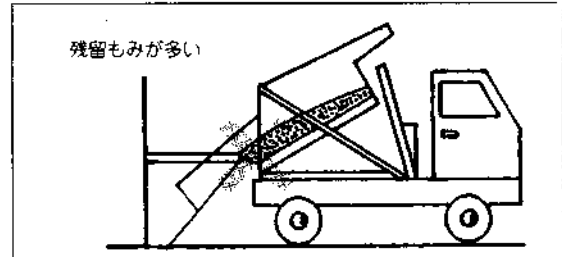
- ロープは必ずフック部へかけてください。フック部以外へかけてそのままハンドルを回すとダンプアップできないだけでなく機体に変形・破損し、事故の原因となります。

- ②フレームのロックピンをベースの穴にセットし、回動をロックします。



**重要**

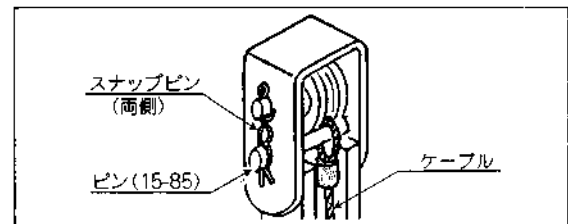
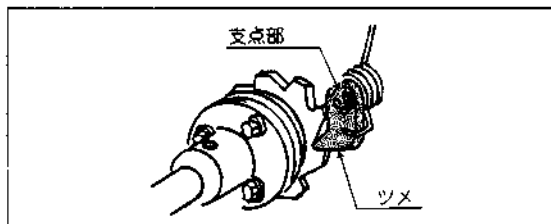
- 袋底面の高さが乾燥機ホッパ上面より低いと残留もみが大変多くなり、排出に苦労します。本機セットの増す上げ木台を使用し、袋ダンプの位置を高くしてください。



## 毎日作業前の点検

毎日作業前に次の項目を点検してください。

点検項目	正常	不具合	処置
ケーブルのいたみ	ケーブルにほつれがない	ケーブルにほつれがある	ケーブルを交換する
ツメの作動	ハンドルを巻上げ方向に回して「カチ・カチ」と音がする	ハンドルを巻上げ方向に回して「カチ・カチ」音がしない	ツメの支点部のごみを取り、注油してスムーズに動くようにする
ピン(15-85)のスナップピン	両側にセットされてある	脱落している	スナップピン(φ14)をセットする



**警告**

- ケーブルにほつれがあった場合はすぐに新しいケーブルと交換してください。そのまま使用しますと切断して落下する危険があります。
- ハンドルを巻上げ方向に回して「カチ・カチ」と音がしないという事はブレーキが作動せず、ハンドルから手を放すとすぐに落下する危険な状態です。必ずツメの作動をスムーズにして、「カチ・カチ」音がする状態にして使用してください。
- ピン(15-85)のスナップピンが脱落した状態で使用しますとケーブルが外れて落下する危険があります。



# 作業のしかた

## 1. もみを張り込む前の確認

袋の排出口が閉まっており、ダンプはフレームに着いていること。

## 2. コンバインから袋へのもみの張り込み

前後、左右とも均等に張り込みます。片寄った張り込みをすると運転時不安定になる場合がありますから注意してください。

## 3. ダンプ作業（排出作業）

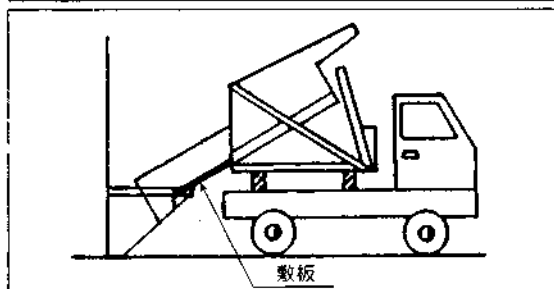
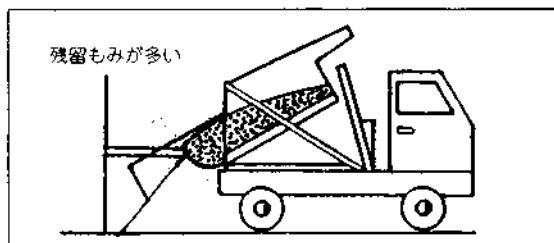


- ハンドルの巻上げ方向は矢印ラベル通りに行なってください。逆回転での巻上げはブレーキがきかず大変危険です。
- 巻上げ時は周囲に人を近づけないでください。
- ハンドルから手を放す時は落下防止ブレーキが確実に作動している事を確認してください。
- 万一の事を考えてダンプアップしたフレームの下には絶対に手足などを入れないでください。

①乾燥機のホoppaへ排出する場合はトラックをホoppaギリギリまで接近させてください。もし離れた時は車とホoppa間に敷板などをして袋が垂れ下らないようにすると残留もみが少なくてすみます。又トラックの停止位置をチョークなどで表示しておくとう便利です。

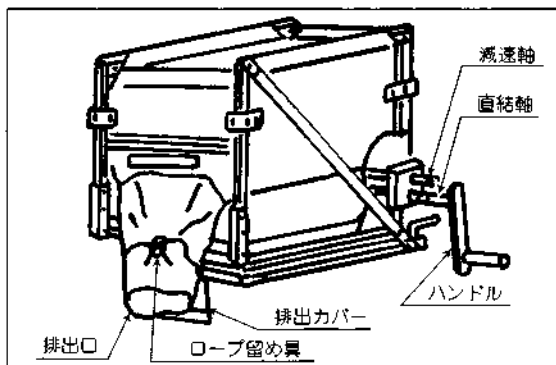
### 重要

- ホoppaとトラックが離れると残留もみが多くなり、排出に苦労します。



②排出カバーを開き、排出口のロープ止め具を引くと自然落下でもみが流出します。ほぼ流出し終わったらハンドルを巻上げ方向に回します。

③ハンドルは2軸あり、上が減速軸（軽い）下は直結軸（高速巻上げ、巻戻し）です。状況に応じて使用します。

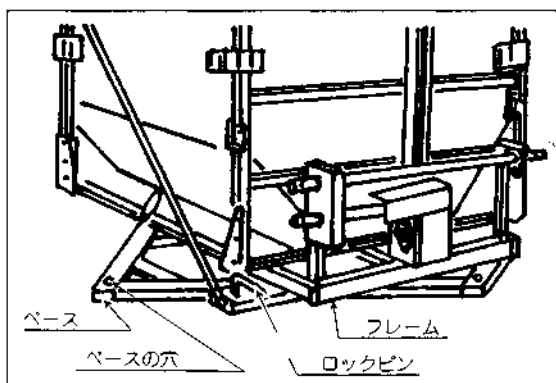


### 重要

- ハンドル荷量は上軸で約4kg、下軸で約9kgです。ハンドルが異常に重い場合は無理に回さず、点検してください。無理にハンドルを回すと、機械が故障します。

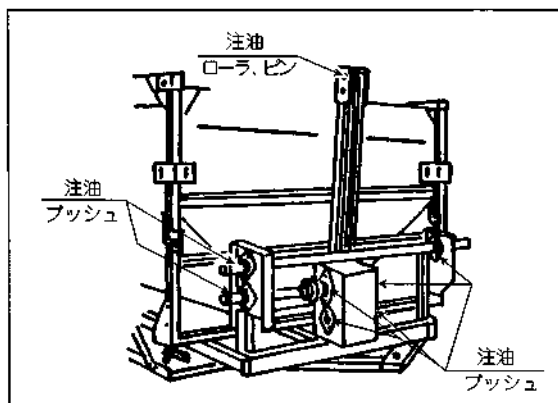
## 4. 排出方向の選択

- ①作業形態に応じてトラックの背面からはもちろん、右・左側からも排出可能です。
- ②ロックピンを上げ、フレームを排出する方向に回転させる。
- ③方向が決まった所で、ロックピンをベースの穴に入れてロックします。



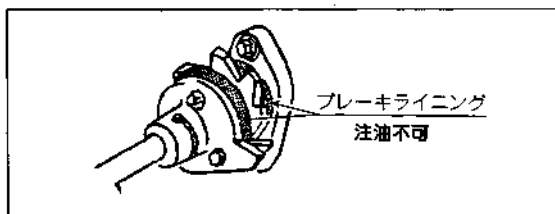
# 注 油

次の箇所には100a毎に注油してください。



## ⚠ 注 意

- ブレーキライニングには絶対に注油しないでください。注油するとブレーキの作動が悪くなり、落下するおそれがあります。



# 長期格納

## ⚠ 注 意

- 安全のため、ダンプアップしたままでの保管は絶対にしないでください。
- 保管中もお子さんには触れさせないでください。
- ケーブルが錆びますと強度が低下し、折損する恐れがあります。ケーブルにはメッキ処理を施してありますが、錆の発生がないようじゅうぶん注意して保管してください。

- ①使用後は各部に付着したごみを取除き、各注油箇所に注油してください。
- ②ケーブルに薄く油を塗布して錆びないようにしてください。
- ③機械は風雨のあたらないごみのない乾燥した場所に保管してください。
- ④長期保管時、袋が鼠の被害を受けないようじゅうぶん注意してください。できれば袋だけ本機から外して単独で保管される事をお勧めします。

# 不調の原因と処置

## ⚠ 注意

- 点検・調節をするときは、必ずフレームを下に降ろした（ダンプアップしない）状態で行なってください。
- ブレーキ部（図2参照）は絶対に分解しないでください。もし分解しないと修理できない場合は購入店に依頼してください。

現象	原因	処置
残留穀粒が多い	袋底面の高さが乾燥機ホoppa上面より低い	・増す上げ木台で袋ダンプの位置を高くする（P7参照）
	袋排出口と乾燥機ホoppaが離れている	・ギリギリまで接近する ・接近できない場合はダンプとホoppa間に敷板をする（P8参照） ・落差をとるため、上記対応と共に増す上げ木台でダンプの位置を高くする
	乾燥機サイドホoppaの投入台の傾斜がゆるい	・投入台の傾斜をきつくする ・増す上げ木台を付けダンプを高くする
ブレーキがきかない （ハンドルを巻上げ方向に回して「カチ・カチ」音がしない）	ハンドルを巻戻し（反矢印）方向に回し過ぎてけん制金具に当たった状態でハンドルに強力な力を加えたため、ブレーキ部のネジがロックした	ギヤのカミ合部へ矢印方向（図1参照）からドライバーなどを入れた状態でハンドル巻上げ方向に回す
	ツメの作動不良	ツメの支点部のごみを取り、注油してスムーズに動くようにする（P7参照）
巻上げはできるが下げる事ができない	上限までダンプアップした状態で更に巻上げ方向にハンドルを強力に回したため、ブレーキ部のネジがロックした	ハンドルを巻戻し（反矢印）方向に手で軽く「トン・トン」とショックを与えながら回す。もしこれでロックが解除しない場合は購入店に修理を依頼してください

### 重要

ハンドルを無理に巻戻そうとするとツメ支点軸などが変形し、ブレーキがきかなくなるおそれがあります

図1

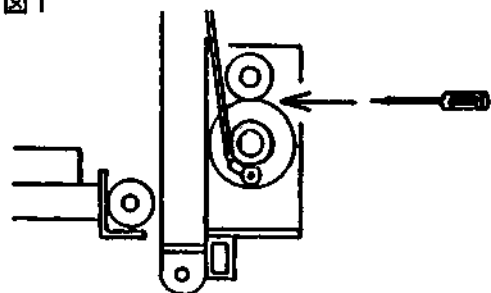
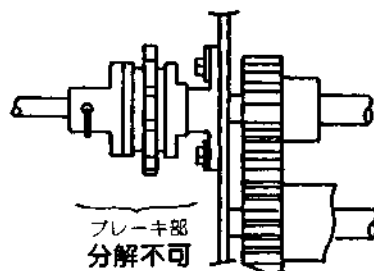


図2



# 仕 様

型 式		HD-FT10	
機 体 の 大 き さ	全 長 (mm)	1720	
	全 幅 (mm)	1240	
	全 高 (mm)	通 常 時	1241
ダンブアップ時		1812	[1932]
全 重 量 (kg)	122 [ 132]		
積 載 量 (kg)	約1000 (33袋)		
排出口の大きさ (mm)	縦300×横600		
ダ ン プ 方 式	手動ハンドル式		
最 大 傾 斜 角 度 (°)	40		
巻 上 げ 回 数	減 速 軸	78	
	直 結 軸	39	
フレーム回動角度 (°)	360		

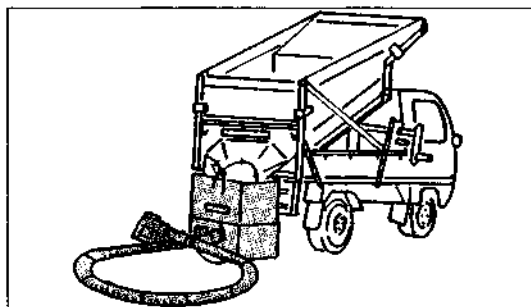
■ ( ) 内寸法は増す上げ木台装着時の数値を表わす。

■ 増す上げ木台は袋ダンブの袋底面の高さが、乾燥機ホッパ上面より低い場合、また排出落差が少ないときに使用します。

## オプション

### ■袋ダンブから乾燥機までの中間搬送機

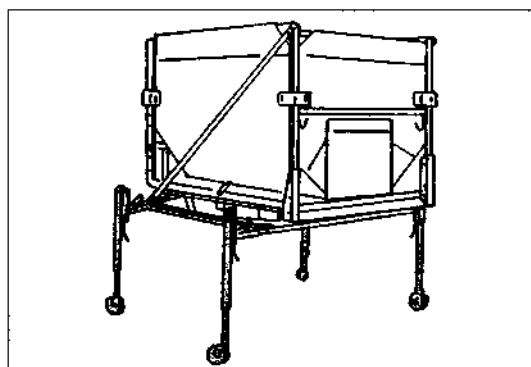
品 番	品 名	有効長
22777-00000	パネコン(B-305)	3.0m
22778-00000	パネコン(B-555)	5.5m
22779-00000	パネコン(B-805)	8.0m



### ■収納台

品 番	品 名
24812-00000	収納台(HS-2)

袋ダンブのトラックへの積み降ろしに大変便利です。



# 安全説明確認カード

説明者(販売店・農協)控

年 月 日

私は説明員から安全についての説明をききました。

ご使用者住所

氏名



販売店・農協名

担当者

型式

製造番号

## 基本事項

チェック

1. 作業管理者を決めること。	
2. 作業に適した健康人であること。	
3. 取扱説明書をよく読み、理解していること。	
4. 使用目的が本機の要求目的と合致していること。	
5. 不当な改造をしないこと。	

## 作業について

チェック

1. ケーブルは取扱説明書通りの正しい経路で、ねじれないよう組付けること。	
2. 安全ラベルの注意事項を守ること。	
3. 作業場所の換気と明るさに注意をはらうこと。	
4. トラックへの積み降ろし作業はじゅうぶん注意すること。	
5. 本機のフック部にロープを掛け、トラックとしっかり固定すること。	
6. 後続車から指示ランプが見えるよう、トラックの後トビラを閉じること。	
7. 道路走行時は回転フレームのロックピンで回り止めをすること。	
8. 毎日作業前にケーブルのほつれ、ツメの作動、ピンの脱落の点検をすること。	
9. 使用トラックの積載量制限を守ること。	
10. 本機の最大積載量は1tです。それ以上は積まないこと。	
11. ハンドルの巻上げ方向は必ず矢印方向に回すこと。	
12. 巻上げ時は周囲に人を近づけないこと。	
13. ハンドルから手を放す時はブレーキが確実に作動している事を確認すること。	
14. ダンプアップしたフレームの下には絶対に手足などを入れないこと。	
15. ダンプアップのままでの道路走行は絶対にしないこと。	

## 点検・格納について

チェック

1. ブレーキライニング部には絶対に注油しないこと。	
2. ダンプアップしたままでの点検、保管は絶対にしないこと。	
3. 保管中もお子さんには触れさせないこと。	
4. ケーブルが錆びないように注意して保管すること。	

(注) 本カードは説明者(販売店・農協)が保管しておいてください。

HD-FT10

# HD-FT10メンテナンスマニュアル

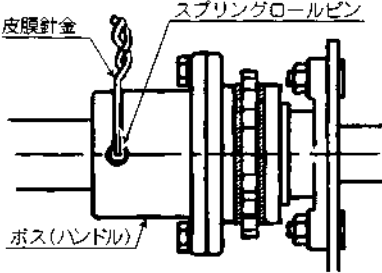
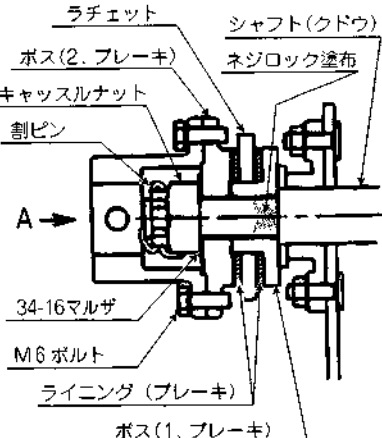

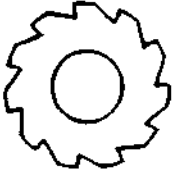
(株) 斎藤農機製作所

## ■ ブレーキ部の分解・組立



**警告**

- ブレーキ部を分解・組立する場合は必ず下記要領で行なうこと。もし守らないと落下する危険があります。

分解手順	
<ol style="list-style-type: none"><li>1. スプリングロールピンに通っている皮膜針金を外す。</li><li>2. スプリングロールピンを抜く。</li><li>3. スプリングロールピンを外した穴にドライバーなどを差し込んで回り止めをしてM6 ボルト (3本) を外し、ポス (ハンドル) を外す。</li><li>4. キャッスルナットの割ピンを抜き、キャッスルナットを外す。</li></ol>	
組立手順	
<ol style="list-style-type: none"><li>1. ポス (1、ブレーキ) をシャフト (クドウ) の肩部に密着するまでねじ込む。 (注) ネジ部分の  印部 (シャフトの段から約1.0cm) にネジロックを塗布すること。</li><li>2. ライニング (ブレーキ) ・ラチェットを図のように組込む。</li><li>3. ポス (2、ブレーキ) を手で当たるまでねじ込む。</li><li>4. キャッスルナットを手で締め切ってから1/6回転戻し、割ピンを入れる。穴と溝が合わない時は戻し方向で次に合う位置にフリピンを入れる。 割ピンは図のように完全に折り曲げること。</li><li>5. ポス (ハンドル) をM6 ボルトで組付ける。ボルト締め付け時の回り止めはポス (ハンドル) の穴にドライバーなどを差し込んで行なうこと。</li><li>6. スプリングロールピンを打ち込み、皮膜針金を通して抜け止めをする。</li></ol>	<p>ラチェット組付け方向 A矢視</p> 



**警告**

- ラチェットの組付け方向を間違えないこと。
- ライニング (ブレーキ) には油を絶対に付着させないこと。
- キャッスルナットの1/6回転戻しを守ること。  
守らないとブレーキがきかず落下することがあります。
- スプリングロールピンに皮膜針金を通して必ず抜け止めをすること。

※本マニュアルは HD-FT10 の分解・組立時に必要なものです。販売店・農協で大切に保管してください。

もし、本書がお客様のもとにありましたら、販売店・農協の担当者にお渡しください。

# 安全確認一覧表

## 基本事項

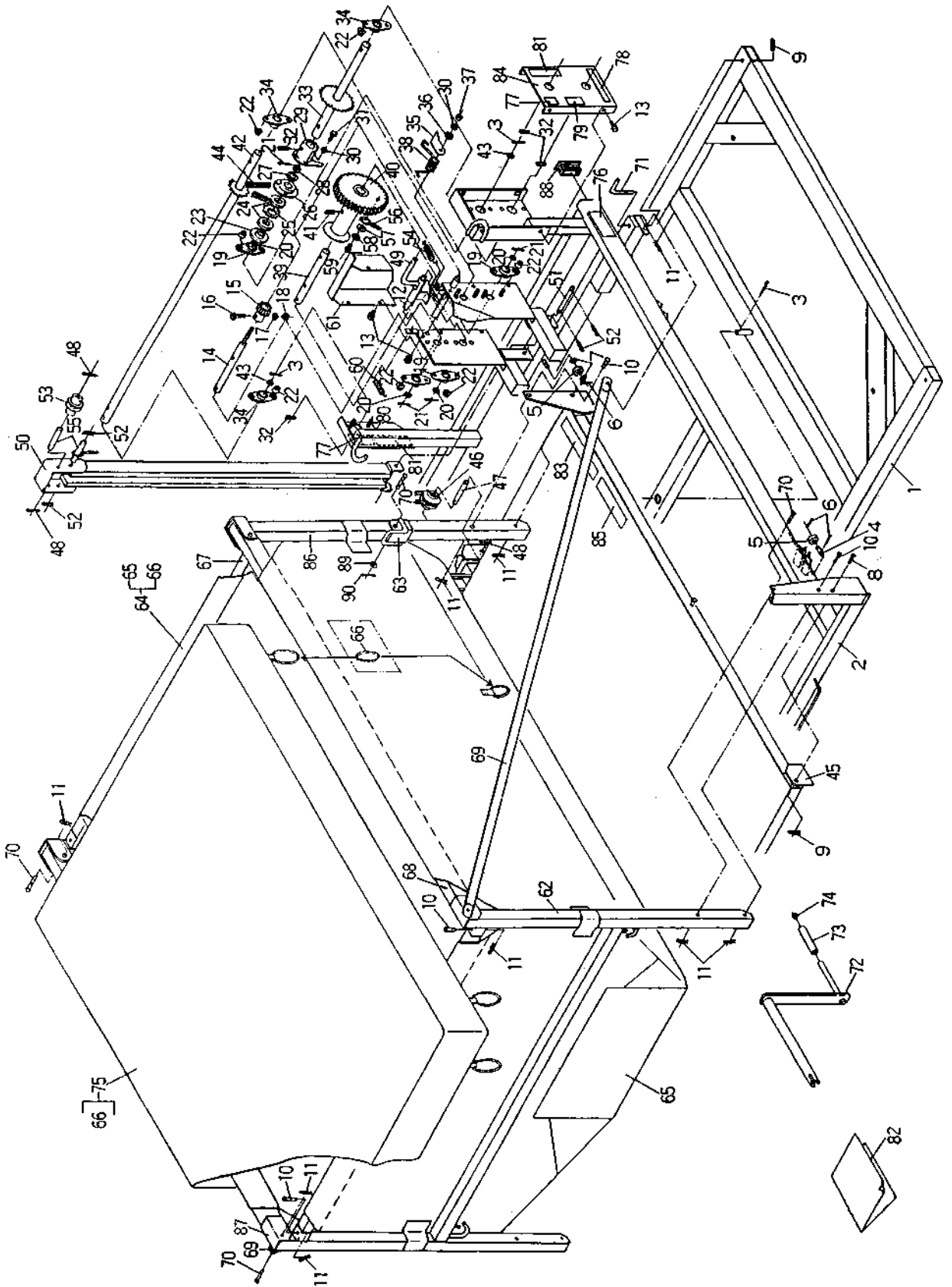
1. 作業管理者を決めること。
2. 作業に適した健康人であること。
3. 取扱説明書をよく読み、理解していること。
4. 使用目的が本機の要求目的と合致していること。
5. 不当な改造をしないこと。

## 作業について

1. ケーブルは取扱説明書通りの正しい経路で、ねじれのないよう組付けること。
2. 安全ラベルの注意事項を守ること。
3. 作業場所の換気と明るさに注意をはらうこと。
4. トラックへの積み降ろし作業はじゅうぶん注意すること。
5. 本機のフック部にロープを掛け、トラックとしっかり固定すること。
6. 後続車から指示ランプが見えるよう、トラックの後トビラを閉じること。
7. 道路走行時は回転フレームのロックピンで回り止めをすること。
8. 毎日作業前にケーブルのほつれ、ツメの作動、ピンの脱落の点検をすること。
9. 使用トラックの積載量制限を守ること。
10. 本機の最大積載量は1tです。それ以上は積まないこと。
11. ハンドルの巻上げ方向は必ず矢印方向に回すこと。
12. 巻上げ時は周囲に人を近づけないこと。
13. ハンドルから手を放す時はブレーキが確実に作動している事を確認すること。
14. ダンプアップしたフレームの下には絶対に手足などを入れないこと。
15. ダンプアップのままでの道路走行は絶対にしないこと。

## 点検・格納について

1. ブレーキライニング部には絶対に注油しないこと。
2. ダンプアップしたままでの点検・保管は絶対にしないこと。
3. 保管中もお子さんには触れさせないこと。
4. ケーブルが錆びないように注意して保管すること。





図番	コードNo	部 品 名 称	個 数	備 考
1	24117-1111-1	ベース(サイドウ)	1	
2	24117-1112-1	ベース(ダンプ)	1	
3	05511-50535	ワリピン	3	呼5×35
4	24115-1214-1	ピン(17.38)	4	
5	08121-06303	ペアリング	5	6303ZZ
6	03511-50322	ワリピン	9	呼3×22
7	04014-50160	ヒラザガネ	2	M16(φ32×13.2)
8	24115-1113-1	ピン(10.50)	2	φ10×50
9	05525-51000	スナップピン	3	φ10
10	24115-1159-1	ピン(8.50)	10	φ8×50
11	05525-50800	スナップピン	18	φ8
12	24115-1115-2	シャフト(ツナギ)	1	
13	01202-50614	ボルト	10	M6×14
14	24115-1116-1	シャフト(クドウ)	1	
15	24115-1117-1	ギヤ(12)	1	
16	01153-50840	ボルト	1	M8×40(7T)
17	04512-50080	ハネザガネ	1	M8
18	02114-50080	ナット	1	M8
19	14311-1164-1	アッシェ	4	
20	04011-50220	ヒラザガネ	4	M22(φ40×3.5)
21	05511-50425	ワリピン	4	呼4×25
22	02021-50060	フランジナット	14	M6
23	24115-1118-4	ボス(1,ブレーキ)	1	
24	24115-1119-1	ライニング(ブレーキ)	2	
25	24115-1121-1	ラチェット	1	
26	24115-1122-2	ボス(2,ブレーキ)	1	
27	71115-1148-1	34-16ワルサ	1	
28	02254-50160	キャッセルナット	1	M16,P2.0
29	24115-1124-3	ボス(ハンドル)	1	
30	04512-50060	ハネザガネ	4	M6
31	01035-50616	ボルト	3	M6×16(7T)
32	05411-00850	スプリングピン	4	φ8×50
33	24115-1225-1	シャフト(1,ハンドル)	1	

図番	コードNo	部 品 名 称	個 数	備 考
34	24115-1126-2	アッシェ(ハンドル)	3	
35	24115-1227-1	ツメ	1	
36	57471-5117-1	19マルサ	1	M6(φ19×1.6)
37	02014-50060	ナット	1	M6
38	24115-1228-2	ネジリスプリング(ツメ)	1	
39	24115-1129-1	シャフト(ドラム)	1	
40	24115-1131-2	ギヤ(38)	1	
41	05651-50810	トメネジ	1	M8×10
42	24115-1232-1	シャフト(2,ハンドル)	1	
43	24115-1133-1	ヒラザガネ(28.50)	2	
44	24115-1134-2	チェーン(36)	1	
45	24117-1135-1	フレーム(ダンプ)	1	
46	24115-1136-1	ローラ(60)	1	
47	24115-1137-1	ピン(15.60)	1	
48	05511-50320	ワリピン	4	呼3×20
49	24115-1167-2	アーム(ケンセイ)	1	
50	24117-1138-1	ボール(ウインサ)	1	
51	24115-1139-1	ピン(15-106)	1	
52	05525-51400	スナップピン	4	φ14
53	24115-1141-2	ローラ(50)	1	
54	24115-1172-1	スプリング(ケンセイ)	1	
55	24115-1243-1	ピン(15.85)	2	
56	24117-1144-1	ケーブル	1	
57	57531-5121-2	32サガネピイ	1	M10(φ32×3.2)
58	04512-50100	ハネザガネ	1	M10
59	24115-1123-1	ロックアナツキボクンボルト	1	M10×25(P1.5)
60	24115-1145-1	ヒックリスプリング(ボール)	1	
61	24115-1246-2	カバー(ギヤ)	1	
62	24115-1147-2	ボスト(F)	1	
63	24117-1148-1	ボスト(R)	1	
64	24117-1150-1	タンク(モミ)アッシ	1	65.66
65	24117-1149-1	タンク(モミ)	1	
66	24115-1255-1	ゴムワ	10	

図番	コードNo	部 品 名 称	個 数	備 考
67	24115-1151-1	ビーム(1)	2	
68	24117-1115-1	ビーム(RH)	1	
69	24115-1153-2	サポート	2	
70	24115-1354-2	ピン(8.52)	8	φ8×52
71	24115-1156-1	ピン(ストッパ)	1	
72	24115-1157-2	ハンドル	1	
73	24115-1166-1	ハンドルニギリ	1	
74	04613-50120	ジクサーナット	1	φ12
75	24115-1165-1	カバー(ジョーブ)	1	66
76	24117-1161-1	ラベル(カタシキ)	1	
77	24115-1164-1	ラベル(チェウイ)	2	
78	24117-1174-1	ラベル(ドカコウホウ)	1	
79	24115-1162-2	マーク(RH,マキアゲ)	1	
80	24115-1163-2	マーク(LH,マキアゲ)	1	
81	24114-3111-1	ラベル(アンゼン)	2	
82	24117-1171-1	トリアツカイセフメイシヨ	1	
83	22132-3115-1	ラベル(2,チェウイ)	1	
84	24115-1173-1	カバー(チェウエ)	1	
85	24114-3112-1	ラベル(1,チェウイ)	1	
86	24117-1175-1	ボスト(R-U)	1	
87	24117-1116-1	ビーム(LH)	1	
88	11309-1122-1	キャップ(60×30)	2	
89	04014-50080	ヒラザガネ	2	M8(φ18×11.6)
90	05511-50215	ワリピン	2	呼2×15

## 純正部品を使いましょう

補修用部品は、安心してご使用いただける純正部品をお買求めください。  
市販類似品をお使いになりますと、機械の不調や、機械の寿命を短くする原因になります。

## 純正オプションを使いましょう

純正オプションは、一番よくマッチするように研究され、徹底した品質管理のもとで生産・出荷していますので、安心して使っていただけます。  
市販類似品をお使いになりますと、作業能率の低下や機械の寿命を短くする原因になります。



### 株式会社 齋藤農機製作所

- 本社・工場 〒998-0832 山形県酒田市両羽町332番地  
TEL0234(23)1511(代) ファクシミリ0234(26)4161
- 北海道工場 〒079-0181 北海道岩見沢市岡山町18番地  
TEL0126(24)5401(代) ファクシミリ0126(24)5402
- 九州営業所 〒861-8039 熊本県熊本市東区長嶺南1丁目1番10号  
TEL096(384)6865(代) ファクシミリ096(384)6864
- 大阪営業所 〒590-0808 大阪府堺市堺区旭ヶ丘中町1丁6番29号  
TEL072(245)0797(代) ファクシミリ072(245)0818

品番 24117-1171-1